

道路空間利活用・空間再編の事例

～国内事例～

四条通

京都府京都市

- 京都市では人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現をめざして、目抜き通りである四条通(烏丸通～川端通)において歩道拡幅事業を進め、従来4車線であった車道を2車線化し、ゆとりある歩行空間の実現により歩行者を中心に好評を博しています。
- また、これまでの考えとは逆にバス停を車道側に張り出したテラス型のバス停が導入されているほか、沿道アクセススペース(車両の一時的停車スペース)の設置や、需要の多い店舗前にタクシー乗り場の設置等が行われています。



葺合南 54 号線

兵庫県神戸市

- 葺合南54号線は、神戸国際会館の東側に位置する都心地域の主要な道路です。
- 自動車交通中心の「交通機能優先の道路」から歩行者が楽しみながらまちを歩くことができるよう、南行き2車線と停車帯で構成される全幅18メートルの道路を南行き1車線に見直し歩道を拡げ「空間機能優先の道路」へと再整備が行われています。



大手前通り

兵庫県姫路市

- 姫路市大手前通りは、姫路駅と姫路城を結ぶ延長670mの姫路市のメインストリートです。
- 姫路市大手前通りの空間再配分は、姫路駅北駅前広場のリニューアルに伴い実施されたもので、車道を従来の片側4車線から1車線に縮小することで歩道を拡幅しています。
- また、駅前付近の区間(十二所前線以南)では一般車の通行を制限するランジットモール化も行われています。



御堂筋完成80周年記念事業 2017

世界最新モデルとなる、人中心のストリートへ。

詳しくは御堂筋完成80周年のホームページをご覧ください。

<https://mido-suji80.info/>

